

食育だより



常総市立豊岡小学校
平成24年4月号



食べることは生きること



暖かい春の日差しが心地よい季節となりました。ご入学、ご進級を迎えたみなさま、誠におめでとうございます。これから1年間、「食」について楽しく学んでいきましょう。

私たちにとって「食べること」は生きるために欠かせません。勉強したり、運動したりできるのも、食べ物から栄養をとり入れているからです。おとなになっても健康でいきいきと過ごすためには、成長期のうちに望ましい食生活を身につけることがとても大切です。



学校における食育とは？

食育とは、知育、徳育、体育の基礎となるもので、さまざまな経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を身につけて、健全な食生活を実践できる人間を育てることです。学校では、食育の中心である給食のほか、各教科や特別活動と連携し、学校教育活動全体を通じて食育に取り組んでいきます。

食育から学べること



☆ 毎月19日は「食育の日」です。

<家族そろって食卓を囲みましょう！>



給食の思い出、聞かせてください♪☆第1回☆

昭和40年代の給食

秋田校長先生



当時の給食で出されたのは牛乳だけでした。弁当箱を新聞紙でくるんで持っていき、食べた記憶があります。それから考えると、今の給食は栄養も管理されており、幸せです。

茨城県下妻市昭和40年代の給食

中山教頭先生

「よく食べるクラスはいいクラス」担任の先生がいつも言っていた。そのせいか、男子も女子もよくおかわりをした。みんなと楽しく食べる給食は、一番の楽しみの時間であった。